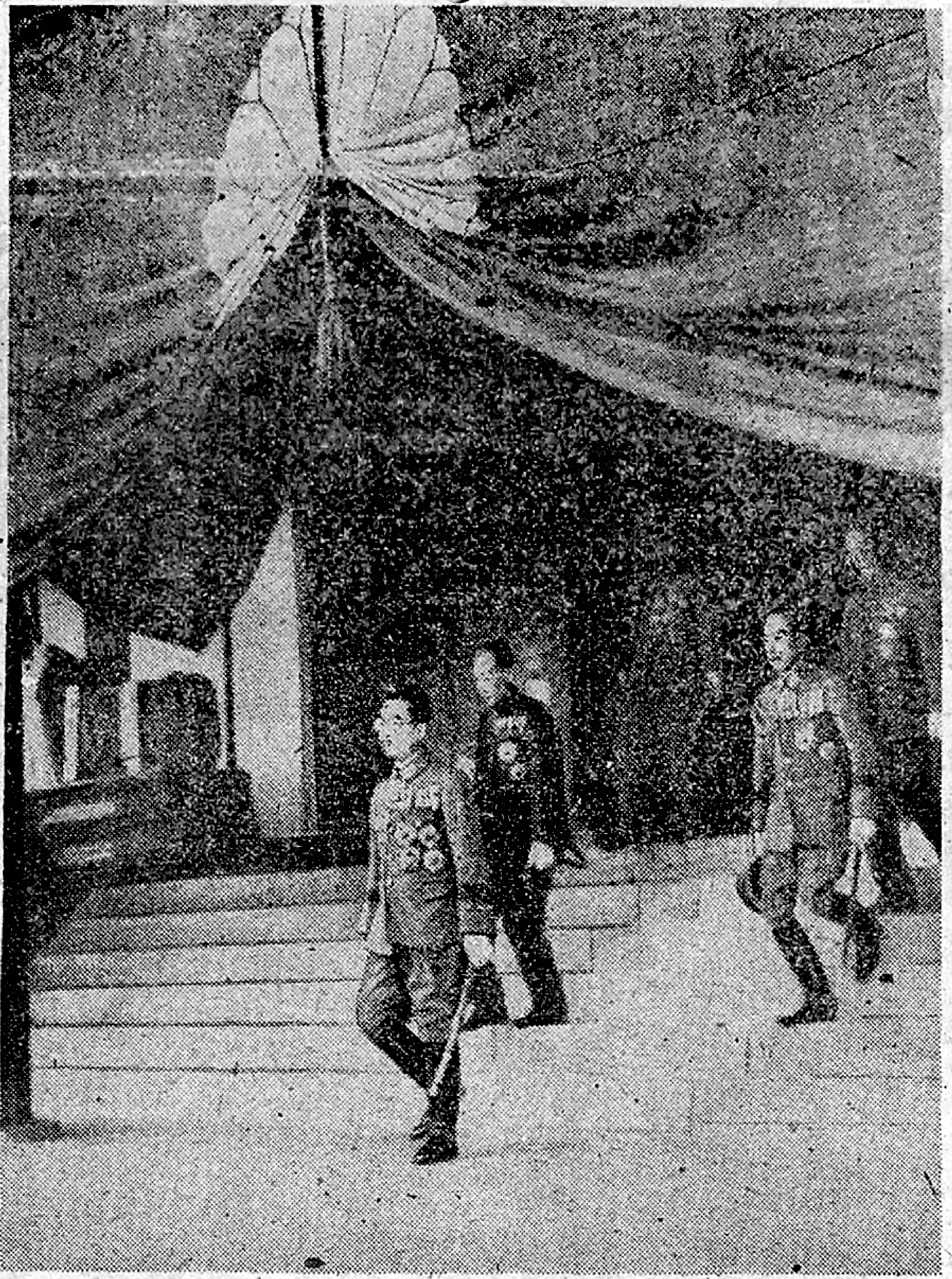
中部日本
戰時版

發行所
中部日本新聞社
名古屋市中區西川端町一ノ五
別館
同 榮區御幸本町通二ノ二四
一ケ月七十錢 一部三錢
發行人 松村郡雄
編輯人 亀山巌
印刷人 加藤登一

陸鷲・全支を制壓

敵基地を虱潰しに爆碎

【南京廿四日發同盟】わが航空部隊は去る八日在支米空軍の本據桂林飛行場を猛襲したのを手初めに連日敵前進基地の覆滅作戰を展開二十二日までの二週間に廣東、廣西、江西、湖北、福建、河南、陝西の七省に散在する敵空軍基地に殺到し敵の對日空襲企圖を徹底的に爆碎した、即ち八日には桂林飛行場の滑走路を爆碎、ついで十三日廣西省の丹竹飛行場、十四日には廣東省の南雄飛行場、江西省の玉山飛行場、さらに同日湖北省老河口飛行場を攻撃した、十五日には福建省建甌飛行場を攻撃し同飛行場を一時使用不能に陷れ、他の一隊は河南省内鄕飛行場を急襲、二十日には陝西省南部の漢中、城固兩飛行場を襲ひ、他の一隊は陝西省最南部の興安飛行場を攻撃、さらに二十一日も陝西省に出撃して漢中飛行場、隴海線西端の要衝寶雞飛行場を反復急襲、二十二日には二回に亘り陝西省の要衝西安飛行場に進攻、軍事施設を爆碎し、他の一隊は陝西省咸陽飛行場を急襲した、かくの如くわが陸鷲部隊は連日にわたり東南支那海方面及び陝西、河南兩省を中心とする中北支方面の敵空軍基地を次々に爆碎しチエンノートの對日空襲企圖を徹底的に爆碎しつゝある



天皇陛下・靖國の忠靈に御親拜 —謹寫謹電送—

天皇陛下忠靈に御親拜

臨時大祭第二日

拜跪の遺族感泣

滅敵誓ふ一億の總遙拜

畏くも 天皇陛下には靖國神社臨時大祭第二日の二十五日同神社に行幸あらせられ親しく東亞の戰の場に盡忠の華と散つた新合祀の祭[illegible]五柱を始め護國の英魂に御親拜あらせられた

この日[illegible]へ[illegible]相、沢本大祭委員長及び在京陸る靖國神社[illegible]各官衙、學校、在京東部く光[illegible]に航空軍各部隊の總代、合祇の[illegible]關係團体等の代表者を始め文武尺の[illegible]席位を正して所定の位**護國の**[illegible]寄せる[illegible]置につく、續いて高松宮、三笠せ給ふ大御心の程にむせび[illegible]宮兩殿下を始め奉り各皇族殿下御親御臨[illegible]に時の至るを待つ、[illegible]には本殿前の御席に御着席遊ば午後零時卅分東條首相、嶋田海[illegible]され行幸を御待ち申上げる、畏くも 天皇陛下には陸軍御軍裝に大勳位、功一級各御勳章以下各種勳章を御佩用、百武侍從長陪乘、松平宮相、蓮沼侍從武官長以下供奉の略式自動車鹵簿にて午後一時宮城を御出門、御順路を靖國神社へ向はせられた

御順路に分散整列して鹵簿を拜する遺族及び九段の社に拜跪する三万余の遺族は御料車に拜し奉る至尊の龍顏、深き御仁慈の御會釋に思はず大地にひれ伏して無限の感動に打ち震へるのであつた、軈て鹵簿は「君が代」奏樂裡に九段の神域へ進み 陛下には諸員奉迎裡に拜殿前に着御、沢本大祭委員長の御先導、東條、嶋田陸海兩相御手水、御修祓の御後、鈴木宮司御先導申上げて本殿に進ませ給ひ宮司御玉串を百武侍從長に傳進 陛下には

畏くも 侍從長の奉る御玉串を御手に執らせられ護國の忠靈に御親拜あらせられた、時まさに午後一時十五分、この時全國一齊に民一億はその職域で默禱、芳烈千古に薫る靖國の英靈に征戰完遂の新たなる決意をいや固く誓つたのである、かくて 陛下には同一時二十分「君が代」の奏樂裡に靖國神社御發御、諸員奉送の裡に再び遺族などに御會釋を賜ひつゝ天機麗しく宮城に還幸あらせられた

皇后、皇太后兩陛下御默禱

この日 皇后、皇太后兩陛下にも 聖上御親拜の御時刻親しく護國の英靈に御默禱あらせられた御由に洩れ承る

艦載機一千台で大爆撃

米作戰次長、空母增強を豪語

【リスボン二十四日發同盟】ワシントン來電＝米國海軍航空作戰部次長ラッド・フォードは二十四日の新聞編輯者協會の席上で米海軍空母勢力の增大を誇り次の通り演說した

空母勢力增大の結果、太平洋戰域では艦載機のみからなる一千機台の大編隊による攻撃が普通のこととなつた、今や米國海軍は一千機以上の大編隊をもつて太平洋海域に爆撃を加へるといつても誇張ではない、我が機動艦隊はますます有力となつてゐる

就役戰艦廿隻

【リスボン廿四日發同盟】ワシントン來電＝米國海軍作戰部長キングの海軍報告は廿三日一般に發表されたが、そのうちでキングは米國海軍の戰艦現有勢力につき次の通り述べてゐる

現在艦隊に編入され就役中の戰艦は全部で二十隻で、進水はしたがまだ艦隊に編入されてゐない超弩級艦ウイスコンシン、ミズリー兩號は含んでゐない、また海軍協定廢棄後の建艦計畫により開戰の前後を通じて進水した戰艦サウスダコタ、インディアナ、マサチユセツツ、アラバマ、アイオワ、ニユージヤーシーの六隻は何れも就役してゐる

セングマイ東方高地を占領

【インド前線にて長谷川報道班員二十四日發】コヒマ街道の要衝セングマイを猛攻中のわが部隊はインパール北側戰線の均衡を破つて十八日夜つひに同地東方突角高地の一角を占領、引續き主陣地に據る敵と激戰中である

ビシエンプール激戰

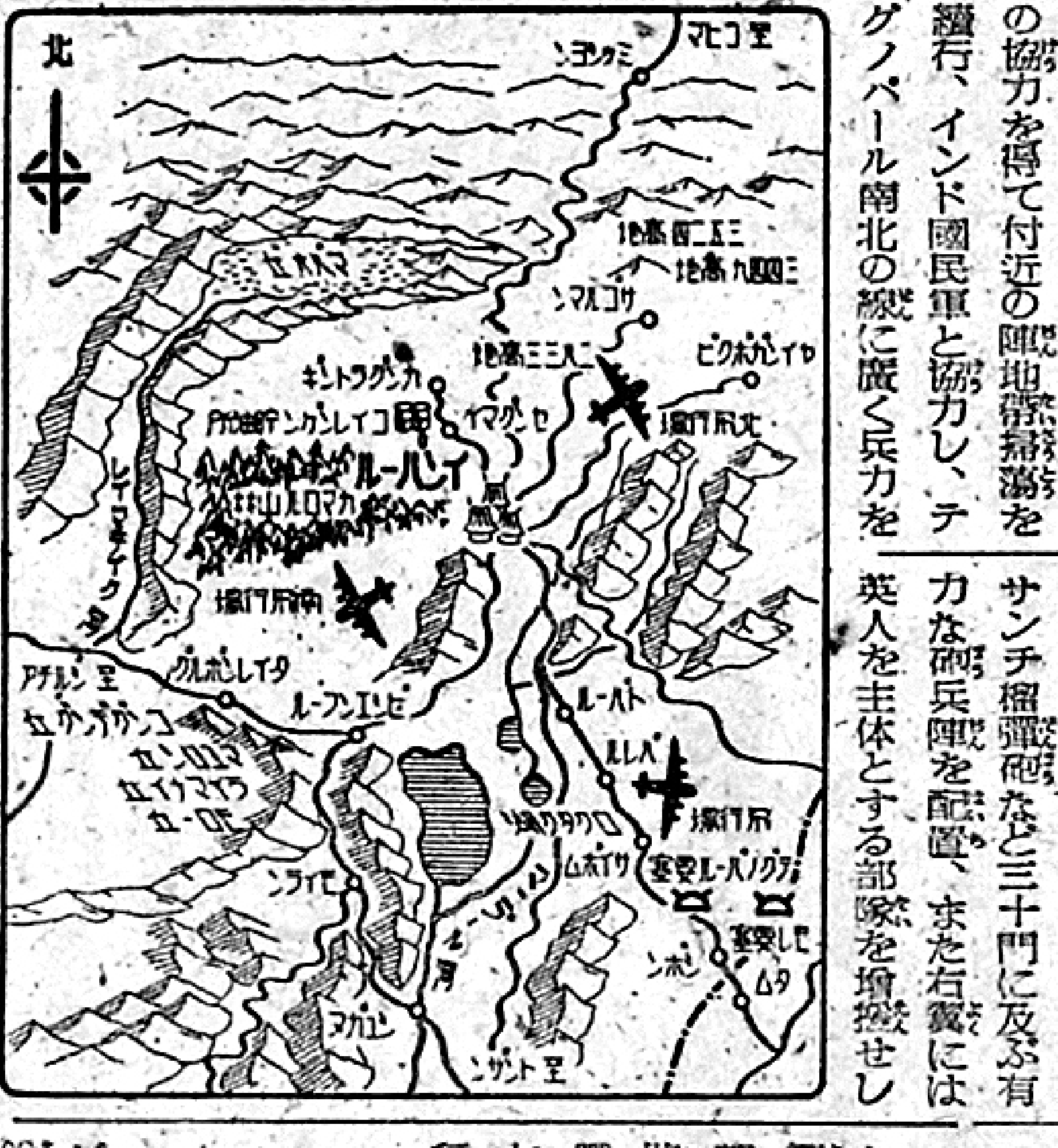
【リスボン二十三日發同盟】カンデイ來電によれば マウントバツテン麾下東南アジア反樞軸軍司令部は二十三日の公報で次の通り發表した

反樞軸軍はビシエンプール付近で有力な日本軍の攻撃を受け激戰展開中である

パレル第二線猛攻

我巨砲サイボムを痛撃

【ビルマ前線基地橋本報道班員二十四日發】二十日パレル前面の要衝テグノパール奪取に成功したわが精銳は引續き有力なる空軍部隊の協力を得て付近の陣地群掃蕩を續行、インド國民軍と協力し、テグノパール南北の線に廣く兵力を分散した敵の虛を衝いて一擧に第二線陣地を突破せんとしてゐる、敵はテグノパール北方のサイボム西南方に十五サンチ加農砲、十二サンチ榴彈砲など三十門に及ぶ有力な砲兵陣地を配置、また右翼には英人を主体とする部隊を增援せしめ必死の抵抗を繼續、二十日以來わが巨砲陣またこれに對し猛烈な砲撃を加へ敵陣を沈默せしめてゐる



丘陵喪失 敵も認む

【リスボン二十四日發同盟】カンデイ來電によれば東南アジア反樞軸軍司令部は二十四日の戰況公報で二十一日以來パレル、タム道路上の丘陵陣地で日英兩軍間に激戰が展開され二十三日日本軍は一ケ所の丘陵を占領、更に攻撃を續行してゐると發表した

インパール南飛行場を連襲

【ビルマ〇〇基地廿四日發同盟】ビルマ方面陸軍急降下爆撃隊の精銳は二十一日夕刻大擧してインパール南飛行場を攻撃、飛行場南側の掩蓋廠群を爆碎するとともにインパール、パレル道を北進中の敵自動貨車群約二十輛に急降下爆撃を敢行して大損害を與へ、全機無事歸還した、更に二十二日午前わが戰鬪機隊はインパール南飛行場に殺到、對地銃砲撃を反復して在地敵大型機一機を炎上、二機を撃破し更に疾走中の自動貨車四輛を撃破、また同飛行場に飛來してきた敵輸送機ダグラスDC3型三機を攻撃して被彈せしめ全機無事基地に歸還した

東南インド進攻路開く

—パレトワ攻略部隊快進撃續く—

【カラダン前線大沼、遠藤報道班員二十三日發】日印軍のパレトワ占領によつて南部印緬戰局は攻守一轉、わが絕對的主動の下にラングレーへ、コツクスバザーへと展開し得ることゝなつた、敵は彼等の企圖せる基地推進はおろか遂に國境線二十キロを距る東南部インド防衛の危機に戰慄するに至つたカラダン方面の我南下據點はパレトワから余り遠くないバンダルバンを經てコツクスバザーに通ずる作戰路にあり他方ダレトメを經てカラダン河谿から北上すればシルチアー、チツタゴン道の要衝ラングレーに進撃路が開けてをり大きくカラダン河上流に打込まれた今次日印軍の戰略的楔は直接マユ山脈を距てアラカン方面の敵二個師の背後を脅威するほか東南部インドへのわが作戰の目的確保を意味し、かつチン丘陵地帶よりラングレーに向ひ進撃中のわが部隊と一層緊密に策應し得ることゝなり東部インドベンガル灣の要衝〇〇に對する脅威を一層增大し得るに至つたのである、かくてパレトワ戰略線によつてわが絕對主動下に置かれた南部印緬國境方面の戰局は現にインパールを目標に壯大なる包圍鐵環を完成した東部インド進攻作戰に關して新たに東南インド進攻へと發展するのであらう

送れ送れ戰場へ
三菱電機

世界の動き

西班牙義勇師團解散

スペイン外務省は二十四日東部戰線に送つてゐるスペイン義勇軍「青色師團」を解散させたと發表した、これは米英がかねて解散するやう脅迫を加へてゐたものである（マドリッド來電＝リスボン發同盟）

英・國外旅行を禁止

英內務省は廿四日夜「軍事上の理由で國民の外國旅行を禁止する」と發表、從來の出國許可は二十七日夜限りとした、なほ國家的任務によるものは證明許可制とするはず（ストツクホルム發同盟）

英空軍へチトー將兵

英空軍省は二十四日、ユーゴー赤色チトー政權と所屬將士を英空軍に採用する協定を結んだ（ロンドン來電＝ストツクホルム發同盟）

石油會議で米の攻勢

ワシントンで開催中の米英石油會議に米國側は世界の石油資源開發のため協定を締結し、兩國は議會の承諾を得て國際委員會を組織しソ聯その他の參加を勸誘する案を提出した、これは体裁はよいがその實イギリスの石油獨占を米が顚覆させようとしてゐるのだとUP通信は報じてゐる（リスボン發同盟）

西亞のインフレ會議

カイロで開かれた西亞經濟會議でイギリスの常駐相代理モインは二十四日「西亞のインフレは反樞軸軍の駐屯で起つたが、この後始末は西亞各國でも一つ對策に協力されたい」と身勝手な聲明を發した（リスボン發同盟）

ギリシア陸軍も叛亂

カイロにゐる亡命ギリシア艦隊の叛亂事件につゞき陸軍も一個旅團が兵營に立籠つて叛亂、二十四日鎭定されたと反樞軸中東軍司令パジエツトは發表した（リスボン發同盟）

濠洲首相ワシントン着

訪英の途中、米に立寄つた濠洲首相カーチンは二十四日ワシントンに到着した（リスボン發同盟）

ボストンで火事騷ぎ

アメリカ東部ボストン港造船所は二十三日大火災をやり、石炭倉庫に延燒六千トンを烏有に歸しヨツト二百五十隻を燒いたといふ（リスボン發同盟）

お蝶婦人米國で禁止

アメリカ放送會社はプッチニー原作の歌劇「お蝶婦人」はこれから放送しないことに決定した（ニユーヨーク來電＝リスボン發同盟）

共產黨市議が最高點

最近行はれた印度のカルカツタ市會議員の選擧に二名の共產黨員が最高點で當選したが、これはカルカツタ市會始まつて以來のことといはれる（ラングーン發同盟）

筆陣

第一次世界大戰にドイツが敗れたのは國民が笑ひを忘れたからだといはれてゐる。戰局は、いかなる困苦欠乏にも堪へることをわれらに要請してゐるが、苦しみを苦しみとして忍ぶだけでは十分でなく、これを超克しなければならない。

× ×

七福人の布袋和尚は、どんなにほめられても、そしられてもニコ〳〵笑つてゐたといふが、どんな困苦欠乏もこれを超克すれば笑つて直面することが出來る。子供が長い間夢中になつて遊んでゐて疲れを知らないのは苦しみでなく樂しみだからである。「わがものと思へば輕し笠の雪」なのである。

× ×

產業戰士がこの心境に立てば毎朝職場に通ふ足並も輕く、口笛でも鳴らしたいやうな氣持で仕事につき、我を忘れて樂しく働くことが出來よう。かうして逞しく明るい笑顏が工場に揃へば工場の能率が上り、同じ笑顏が銃後に漲つてゐれば戰爭は必ず勝つ。